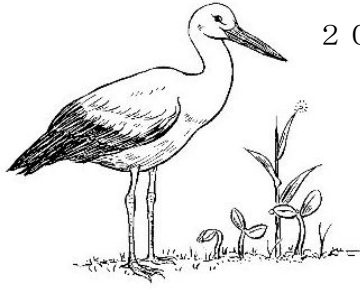


わたらせ未来通信 26号 わたらせ未来基金



2013.4.18

代表世話人 青木章彦

<事務局>

〒306-0234 茨城県古河市上辺見3041

電話/FAX 0280-31-8913 (内田方)

E-mail mikuni84219-uti@lion.ocn.ne.jp (同上)

HP <http://watarase-mirai.jimdo.com/>

郵便振替口座 わたらせ未来基金 00160-1-12481

編集 塚田啓一

春の行事予定

○湿地のグリーンウェイブ

ラムサール条約登録湿地・渡良瀬遊水地自然観察会

——植物、昆虫、両生類、野鳥——

主催 渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会

日本野鳥の会栃木、わたらせ未来基金、

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録地にする会

日時 5月12日(日) 午前9時30分～12時30分 小雨決行
集合 栃木市藤岡遊水池会館前駐車場 東武日光線「藤岡駅」より徒歩15分
栃木県栃木市藤岡町藤岡 1788

講師 野鳥： 日本野鳥の会栃木 両生類： 日本野鳥の会栃木
昆虫： 大川 秀雄 氏 (とちぎ昆虫愛好会会員)
植物等： 青木 章彦 氏 (作新学院大学女子短期大学部教授・環境教育ネット
ワークとちぎ代表・当会代表世話人)

観察場所 谷中村史跡保全ゾーン等

観察方法 植物等、昆虫、両生類、野鳥のグループに別れて観察 (両生類班は今回初)

☆午後も参加できる方へ

第二調整池内湿地再生試験地 (環境学習フィールド) のセイタカアワダチソウ、ヤナギ等の除去作業を行います。 <後援 国土交通省利根川上流河川事務所>

2年前から実施し、湿地の植物の成長に効果が表れています。

集合時間・場所 13時30分 史跡保全ゾーン駐車場 (15時30分まで)

各自で準備する物 長靴、あれば大形スコープ (当会でも用意します。)

○湿地保全再生・再生プロジェクトの環境学習、観察会

6月以後も毎月、第二調整池内湿地再生試験地 (環境学習フィールド) において、生物等の観察・記録、環境学習及び湿地保全作業を行います。(最終ページの2013年度活動予定表参照)

○わたらせ未来プロジェクト「足尾植樹デー」

今年も安蘇沢等での植樹を行います。

足尾に緑を育てる会の植樹デー（4月27(土)、28日(日)）の2日目に参加して、同会管理地の植樹後、希望者は午前11時頃から安蘇沢に移動します。

安蘇沢では、3、4年前に足尾で拾い育てたドンダリの苗を数本植樹します。今年も苗の数は減らし、深く穴を掘ってじっくり植え付けます。各自の育てた苗は、「育てる会」の植樹地に植樹となりますが、「安蘇沢で是非植樹を」と希望される方は、事前にお申し出ください。

開催日 4月28日(日) (雨天決行)

集合時間・場所

車利用者 午前9時30分 足尾・大畑沢緑の砂防ゾーン

(駐車場は大畑沢の先、足尾ダム横の車止めゲートの先)

電車利用者 わたらせ溪谷鉄道の終点間藤駅9時32分着(桐生発8時8分発)から「育てる会」のシャトルバス送迎あり

当会の目印 「わたらせ未来基金」の幟

各自で準備するもの 軍手、作業しやすい服装、帽子、雨具、昼食、飲物

活動時間 昼食を含め約5時間の予定(午前中のみも可)

参加申込 当日、現地で受付

問い合わせ先: TEL・FAX・E-mail とも p1 の事務局



ヨシ裁断

○ ヨシ腐茎土作り

昨年12月のヨシ刈りデーで刈り採ったヨシでの、今年の腐茎土作り第1回目の作業(ヨシ裁断と敷き詰め)を次のように行います。

日時 5月25日(土) (予定)

午前9:00~11:30

場所 栃木市藤岡町

(詳細は事務局に確認のこと)

○ 2013年度定期総会

日時 6月9日(日) 13時30分 (受付開始13時)

会場 古河東公民館2階会議室(予定) 茨城県古河市東3-7-19 JR古河駅東口より徒歩10分
(会場変更の場合は、再度会員宛通知します。)

議題 前年度の活動報告・会計報告、今年度の活動計画・予算案の審議、役員改選等

問い合わせ先: TEL・FAX・E-mail とも上記事務局

主な活動の報告(2012.10~2013.3)

○ 「どんぐり拾い」と植樹地整備

昨年10月21日(日)、例年と同じく足尾・銀山平から舟石峠方面のどんぐり拾いを行いました。一昨年は豊作でしたが、今回はミズナラがほとんどなくコナラも育ちが悪いようでした。毎年を目まぐるしい変化は、自然環境の奥深さを感じさせます。

午後は安蘇沢植樹地のネット補修と草刈りを行いました。

○「ウォーク the わたらせ —源流から渡良瀬湿地帯へ—」第10弾

昨年11月23日（金）、「藤岡の田中霊祠」から旧渡良瀬川跡を辿り、渡良瀬湿地帯（渡良瀬遊水池）西側の土手まで歩きました。

藤岡台地の西側を流れていた本来の渡良瀬川の名残は、コンクリの用水路と数カ所の沼だけになっていると思っていました。ところが近所の方の話で、ウォークに利用したくねくね道が川の堤防の跡との話に一同納得し、コースを辿りました。

終点近くで板倉川と別の用水路とに複雑に合流し、旧川の流れは消えてしまいますが、参考にさせていただいた板倉町文化財資料館の資料に従い、第一石罫の建物を廻り込んで急カーブで北上し、都筑鋼産の資材置き場の横を通過して土手に登り立ち、2004年10月23日に足尾からスタートした当ウォークは、9年目について渡良瀬湿地帯（遊水池）に辿り着きました。

このポイントには、昭和22年のカスリン台風での「決壊口跡」の石碑がありました。



「決壊口跡」の石碑を囲む参加者

○ヨシ刈りデー

<その1>

史跡保全ゾーン駐車場北側のヨシ原において、昨年12月9日（日）に実施しました。2年間のヨシ焼中止で、枯れヨシがそのまま残っており、昨年育ったヨシに昆虫の卵がビッシリと付いているのが目立ちました。

100束のヨシを刈り集め、今年も5月末から始まる腐茎土（腐葉土）作りに使用します。



刈り採ったヨシを前に

<その2>

横堤の屋敷林の保護のため、1月20日（日）、ヨシ焼き前の防火帯作りを行いました。

<その他>

例年実施している、古河第七小学校生のヨシ刈り体験が、昨年12月13日（木）にありました。当日は、5年生が参加し、賑やかに行われました。

○ヨシ焼き前のゴミ拾い

3月10日（日）、今年も写団渡良瀬その他の有志とともに、渡良瀬湿地帯のゴミ拾いを行いました。

今年はヨシ焼が3年ぶりに行われ、計画では焼却はヨシ原全体の4割だったため、事前に行われた防火帯作りの際にかなりのゴミが集められたようで、一見ゴミ量は少なく思われました。しかし、参加者の頑張りで広域にわたり拾いまくった結果、例年同様トラック1台分のゴミを集めました。

なお、ヨシ焼後の4月13日(土)に、利根川上流河川利用者協議会主催の「渡良瀬遊水地クリーン作戦」が開催されました。例年よりゴミ量は少なかったように思います。

ヨシ腐茎土

○ヨシ腐茎土作りについて

ヨシ腐茎土作りは、'08年からNPO法人渡良瀬エコビレッジと共同で行うようになりました。

皆さんの、作業への積極的なご参加をお願いします。

2ページに掲載のとおり、今年のヨシ刈りデーで刈ったヨシの裁断と、広く敷き詰める作業(延ばし)を行います。その後のヨシの積み上げと切り返し作業は、ヨシの発酵の具合により作業日を決定(7月中旬頃以降)します。参加ご希望の方は、時期が近付きましたら当会ホームページの「ブログ」をご覧ください。

○ヨシ腐茎土の「道の駅」での販売について

谷中湖を望む「道の駅きたかわべ」(加須市)に、ヨシ腐茎土を置かせてもらうことになりました。従来通り、当会でも直接取り扱っています。

その他の活動日誌(2012年9月~2013年3月)

- 9.4~12 渡良瀬遊水地ラムサール湿地登録パンフ、ポスター配布とビオトープ観察
栃木女子高、佐野高、足利南高、藤岡2中、新橋小
- 9.8、10.13 ヨシ腐茎土切返し作業
- 9.9、11.11、1.26、3.19、3.24 渡良瀬遊水地湿地保全再生プロジェクト 環境学習フィールド定期観察
- 10.5 足尾に緑を育てる会・ヨシ腐茎土搬出
- 11.12 利根上にヨシ焼きに関する要望書提出に出席
- 12.23 環境学習フィールド ヤナギ除去作業(20m×30m)
- 12.24 足尾安蘇沢植樹地 シカ避けネット支柱補修
- 2.8 とちぎ環境・みどり推進機構森林環境学習研修会 講師
- 2.9 第13回アジア環境創造型稲作技術会議・実行委員会設立総会 参加
- 2.24 湿地保全再生プロジェクト 環境学習フィールド ヤナギ除去作戦
- 2.25 東京大学鷺谷いづみ教授(保全生態学)訪問

編集後記

3月末、昨年数人の当会世話人が参加したが私は参加できなかった「NPO法人リアスの森」主催の東日本大震災後の石巻・北上川河川敷清掃作業に参加した。参加者は男女半々で、高1から70代までと年齢層は幅広く、単独から数人の個人グループがほとんどで、家族連れもあり、神戸さらには高知から参加した人もいた。津波の引き波で上流から運ばれた樹木や発泡スチロールの破片が多く、破損した生活用品等も目に着いた。2日目は雪もちらつく中での作業であったが、人的施設の復興に目一杯の地元で、ヨシの育成のためという直ちに人間の生活に結び付かない作業に打ち込むことの意義を考えつつ、破損した小型ボート等も担ぎ出した。